

学校コード F128310108749

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

神戸女子大学 心理学部 心理学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人行吉学園

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

キョウムジムブチョウ ハヤシ コウジ
教務事務部長 林 孝次

電話番号

078-303-4700

（夜間）

078-303-4717

e-mail

p-kyomu@yg.kobe-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、

当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

心理学部

＜心理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人行吉学園

(2) 大学名

神戸女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒650-0046

兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号

(〒654-8585 兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ユキヨシ ヨシタカ) 行吉 宜孝 (平成31年4月)		
学長	(クリハラ ノブタカ) 栗原 伸公 (平成31年4月)		
学部長	(コハラ ヨリコ) 小原 依子 (令和4年4月)		
学科長等	(コハラ ヨリコ) 小原 依子 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
心理学部 心理学科 学士（心理学）	文学関係	4 年	80 人	— 人	320 人		文学部国際教養学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	80		
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	(-)		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]		
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	823	—	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	735	—	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	181	—	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	81	—	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	
入学定員超過率 B/A													1.01		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	81 [-] (-)	- [-] (-)								
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)							
3年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)				
4年次	/				- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)				
計			- [-] (-)	81 [-] (-)							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	81 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{81} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	基礎Ⅰ	1前	2								1	
	基礎Ⅱ	1後	2								1	
	基礎Ⅲ	2後	2								1	
	女性	女性Ⅰ	1前	2								1
		女性Ⅱ	1後	2								1
		女性Ⅲ	1前	2								5
		女性Ⅳ	1後	2								1
	地域	神戸学	1前	2								3
		地域学習	1通	2		1						
		小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	12
英語	英語Ⅰ-1	1前	1								2	
	英語Ⅰ-2	1後	1								2	
	英語Ⅱ-1	2前	1								4	
	英語Ⅱ-2	2後	1								3	
	外国語コミュニケーションⅠ	3前	1								3	
	外国語コミュニケーションⅡ	3後	1								3	
	教養英語Ⅰ-1	1前	1								2	
	教養英語Ⅰ-2	1後	1								2	
	教養英語Ⅱ-1	2前	1								2	
	教養英語Ⅱ-2	2後	1								2	
語学科目(世界の言語)	ドイツ語Ⅰ-1	1前	1								1	
	ドイツ語Ⅰ-2	1後	1								1	
	フランス語Ⅰ-1	1前	1								1	
	フランス語Ⅰ-2	1後	1								1	
	フランス語会話Ⅰ	2後	1								1	
	フランス語講読Ⅰ	2前	1								1	
	中国語Ⅰ-1	1前	1								1	
	中国語Ⅰ-2	1後	1								1	
	中国語会話Ⅰ	2後	1								1	
	中国語講読Ⅰ	2前	1								1	
初習言語	朝鮮語Ⅰ-1	1前	1								2	
	朝鮮語Ⅰ-2	1後	1								2	
	朝鮮語会話Ⅰ	2後	1								1	
	朝鮮語講読Ⅰ	2前	1								1	
	イタリア語Ⅰ-1	1前	1								1	
	イタリア語Ⅰ-2	1後	1								1	
	イタリア語会話Ⅰ	2後	1								1	
	イタリア語講読Ⅰ	2前	1								1	
		小計(28科目)	-	2	26	0	0	0	0	0	0	15
	情報科目	情報Ⅰ	1前	2			1		1			
情報Ⅱ		1後	2			1		1				
小計(2科目)		-	4	0	0	1	0	1	0	0	0	
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1								2	
	スポーツと健康の科学	2前	2								1	
	スポーツ実技Ⅰ(球技)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅴ(学外)	1後	1								3	
	小計(8科目)		3	6	0	0	0	0	0	0	6	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	基礎Ⅰ	1前	2								1	
	基礎Ⅱ	1後	2								1	
	基礎Ⅲ	2後	2								1	
	女性	女性Ⅰ	1前	2								1
		女性Ⅱ	1後	2								1
		女性Ⅲ	1前	2								6
		女性Ⅳ	1後	2								1
	地域	神戸学	1前	2								3
		地域学習	1通	2		1				1		
		小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	1	0	13
英語	英語Ⅰ-1	1前	1								2	
	英語Ⅰ-2	1後	1								2	
	英語Ⅱ-1	2前	1								4	
	英語Ⅱ-2	2後	1								3	
	外国語コミュニケーションⅠ	3前	1								3	
	外国語コミュニケーションⅡ	3後	1								3	
	教養英語Ⅰ-1	1前	1								1	
	教養英語Ⅰ-2	1後	1								1	
	教養英語Ⅱ-1	2前	1								2	
	教養英語Ⅱ-2	2後	1								2	
語学科目(世界の言語)	ドイツ語Ⅰ-1	1前	1								1	
	ドイツ語Ⅰ-2	1後	1								1	
	フランス語Ⅰ-1	1前	1								1	
	フランス語Ⅰ-2	1後	1								1	
	フランス語会話Ⅰ	2後	1								1	
	フランス語講読Ⅰ(本講義)	2前	1								1	
	中国語Ⅰ-1	1前	1								1	
	中国語Ⅰ-2	1後	1								1	
	中国語会話Ⅰ	2後	1								1	
	中国語講読Ⅰ	2前	1								1	
初習言語	朝鮮語Ⅰ-1	1前	1								2	
	朝鮮語Ⅰ-2	1後	1								2	
	朝鮮語会話Ⅰ	2後	1								1	
	朝鮮語講読Ⅰ	2前	1								1	
	イタリア語Ⅰ-1	1前	1								1	
	イタリア語Ⅰ-2	1後	1								1	
	イタリア語会話Ⅰ	2後	1								1	
	イタリア語講読Ⅰ(本講義)	2前	1								1	
		小計(28科目)	-	2	26	0	0	0	0	0	0	14
	情報科目	情報Ⅰ	1前	2			1		1			
情報Ⅱ		1後	2			1		1				
小計(2科目)		-	4	0	0	1	0	1	0	0	0	
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1								2	
	スポーツと健康の科学	2前	2								1	
	スポーツ実技Ⅰ(球技)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅴ(学外)	1後	1								3	
	小計(8科目)		3	6	0	0	0	0	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教養科目	人・思想・宗教	哲学	1前	2								1
		宗教	1前	2								1
	心理学	心理学 I	1前	2								1
		心とからだの健康	1後	2								2
	言葉と文学	言葉と文学 I	1前	2								1
		言葉と文学 II	1後	2								1
		言葉と文学 III	1後	2								1
		手話 I	1前	2								1
		手話 II	1後	2								1
	歴史	歴史 I	1前	2								1
		歴史 II	1後	2								1
		歴史 III	1後	2								1
	現代社会	日本国憲法	1前	2								1
		現代社会 I	1後	2		1						1
		現代社会 II	1前	2								1
		現代社会 III	1後	2								1
		現代社会 IV	1後	2								1
		現代社会 V	1前	2								5
	数学	数学 I	1前	2								1
		数学 II	1後	2								1
	自然と環境	自然と環境 I	1後	2								1
		自然と環境 II	1前	2								1
	芸術	芸術 I	1前	2								1
		芸術 II	1前	2								1
	衣・食・住	衣・食・住 I	1前	2								1
		衣・食・住 II	1後	2								5
	教養総合科目	教養総合 I	1前	2								2
		教養総合 II	1後	2								3
小計(28科目)			0	56	0	1	0	0	0	0	0	29
演習科目	教養演習 I	1後	2								2	
	教養演習 II	2前	2								2	
	小計(2科目)	0	4	0	1	0	0	0	0	0	2	
専門科目	心理学基幹科目	心理学概論 I	1前	2		1						
		心理学概論 II	1後	2		1						
		社会・集団心理学(社会・集団・家族心理)	1前	2		1						
		神経・生理心理学	1後	2								1
		知覚・認知心理学	1後	2			1					
		教育・学校心理学	1後	2								1
		産業・組織心理学	1後	2			1					
		学習・言語心理学	2前	2				1				
		発達心理学(AI:青年期・成人期・高齢期)	2前	2				1				
		人体の構造と機能・疾患(人体の構造と機能)	2前	2								1
		心理学研究法	2前	2					1			
		心理学統計法	2前	2					1			
		臨床心理学概論	2後	2			1					
		感情・人格心理学	2後	2								1
	小計(14科目)	28	0	0	4	2	1	1	0	0	4	
	心理学演習科目	心理学基礎演習	1前	2			7	2	1	1		
		心理学実験演習 I	1後	2				1		1	1	
		心理学実験演習 II	2前	2							1	1
		上級心理学実験演習 I	3前	2			1				1	
		上級心理学実験演習 II	3後	2						1	1	
		心理学研究総合演習 I	3前	2			7	1	1			
		心理学研究総合演習 II	3後	2			7	1	1			
		専門セミナー I	3前	2			7	2	1	1		
		専門セミナー II	3後	2			7	2	1	1		
		心理演習	3後	2			2	1				
		卒業研究 I	4前	4			7	2	1	1		
		卒業研究 II	4後	4			7	2	1	1		
		小計(12科目)	22	6	0	7	2	1	1	1	1	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教養科目	人・思想・宗教	哲学	1前	2								1
		宗教	1前	2								1
	心理学	心理学 I	1前	2								1
		心とからだの健康	1後	2								7
	言葉と文学	言葉と文学 I(未開講)	1前	2								1
		言葉と文学 II	1後	2								1
		言葉と文学 III	1後	2								1
		手話 I	1前	2								1
		手話 II	1後	2								1
	歴史	歴史 I	1前	2								1
		歴史 II	1後	2								1
		歴史 III	1後	2								1
	現代社会	日本国憲法	1前	2								1
		現代社会 I	1後	2					1			1
		現代社会 II	1前	2								1
		現代社会 III	1後	2								1
		現代社会 IV	1後	2								1
		現代社会 V	1前	2								9
	数学	数学 I	1前	2								1
		数学 II	1後	2								1
	自然と環境	自然と環境 I	1後	2								1
		自然と環境 II	1前	2								1
	芸術	芸術 I	1前	2								1
		芸術 II	1前	2								1
	衣・食・住	衣・食・住 I	1前	2								1
		衣・食・住 II	1後	2								5
	教養総合科目	教養総合 I	1前	2								2
		教養総合 II	1後	2								3
小計(28科目)			0	56	0	1	0	0	0	0	0	34
演習科目	教養演習 I	1後	2								2	
	教養演習 II	2前	2								2	
	小計(2科目)	0	4	0	1	0	0	0	0	0	2	
専門科目	心理学基幹科目	心理学概論 I	1前	2			1					
		心理学概論 II	1後	2			1					
		社会・集団心理学(社会・集団・家族心理)	1前	2			1					
		神経・生理心理学	1後	2								1
		知覚・認知心理学	1後	2					1			
		教育・学校心理学	1後	2								1
		産業・組織心理学	1後	2						1		
		学習・言語心理学	2前	2						1		
		発達心理学(AI:青年期・成人期・高齢期)	2前	2						1		
		人体の構造と機能・疾患(人体の構造と機能)	2前	2								1
		心理学研究法	2前	2							1	
		心理学統計法	2前	2						1		
		臨床心理学概論	2後	2							1	
		感情・人格心理学	2後	2								1
	小計(14科目)	28	0	0	4	2	1	1	0	0	4	
	心理学演習科目	心理学基礎演習	1前	2			7	2	1	2		
		心理学実験演習 I	1後	2				1			1	1
		心理学実験演習 II	2前	2								1
		上級心理学実験演習 I	3前	2						1		1
		上級心理学実験演習 II	3後	2							1	1
		心理学研究総合演習 I	3前	2			7	1	1			
		心理学研究総合演習 II	3後	2			7	1	1			
		専門セミナー I	3前	2			7	2	1	1		
		専門セミナー II	3後	2			7	2	1	1		
		心理演習	3後	2			2	1				
		卒業研究 I	4前	4			7	2	1	1		
		卒業研究 II	4後	4			7	2	1	1		
		小計(12科目)	22	6	0	7	2	1	2	1	1	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
心理学応用科目	心の脳科学	2後		2		1						
	公認心理師の職責	2後		2							1	
	発達心理学B(乳幼児期・児童期)	2後		2								1
	障がい児・障がい者心理学(障害)	2後		2		1						
	心理学的支援法	3前		2		1						
	家族心理学(社会・集団・家族心)	3前		2					1			
	精神医学(精神疾患とその治療)	3前		2		1						
	カウンセリング	3前		2		1						
	心理的アセスメント	3前		2							1	
	健康・医療心理学	3後		2							1	
	心理検査法実習	3後		1		1				1		
	関係行政論	4前		2							1	
	司法・犯罪心理学	4前		2							1	
	臨床心理実習Ⅰ	4前		1		3	1		1	1		
	臨床心理実習Ⅱ	4後		1		3	1		1	1		
	福祉心理学	4後		2							1	
	サービスデザイン心理学	2後		2							1	
	行動経済学概論	2後		2		1						
	産業カウンセリング	3前		2							1	
	経営組織論	3前		2		1						
	心理調査概論	3前		2		1						
	消費者心理学	3後		2		1						
	ビジネスコミュニケーション	3後		2							1	
プロモーションの心理学	3後		2							1		
ブランドと人間行動	4前		2							1		
交渉の心理学	4後		2							1		
メディア心理学Ⅰ	2後		2		1							
メディア心理学Ⅱ	3前		2		1							
メディア倫理	2後		2		1							
メディアと人間行動	3前		2							2		
認知システム論	3後		2							1		
メディアとデザインの心理学	4前		2							2		
広告心理学	4後		2		1							
小計(33科目)		-	0	63	0	6	1	0	1	1	13	
関連科目	データサイエンス入門	1前		2				1				
	コンピュータネットワーク	1後		2				1		1		
	プログラミング	2前		2		1						
	女性とビジネス	2後		2							1	
	多変量解析	2後		2							1	
	経営学概論	3前		2		1						
	マーケティング	3前		2							1	
	ITビジネス	3後		2		1						
	人間行動ビッグデータ解析	3後		2				1			1	
小計(9科目)		-	0	18	0	2	0	1	0	1	3	
合計(145科目)		-	59	197	0	7	2	1	1	2	76	
卒業要件及び履修方法												
全学共通教養科目20単位以上、専門科目80単位以上、全学共通教養科目又は専門科目を24単位以上、合計124単位を修得すること。 なお、全学共通教養科目については、語学科目(世界の言語)のうち「英語Ⅰ-1」、「英語Ⅰ-2」を含む6単位以上、またウェルネス科目は3単位以上とする。 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
心理学応用科目	心の脳科学	2後		2		1					
	公認心理師の職責	2後		2							1
	発達心理学B(乳幼児期・児童期)	2後		2							1
	障がい児・障がい者心理学(障害)	2後		2		1					
	心理学的支援法	3前		2						1	
	家族心理学(社会・集団・家族心)	3前		2							1
	精神医学(精神疾患とその治療)	3前		2		1					
	カウンセリング	3前		2		1					
	心理的アセスメント	3前		2							1
	健康・医療心理学	3後		2							1
	心理検査法実習	3後		1		1				1	
	関係行政論	4前		2							1
	司法・犯罪心理学	4前		2							1
	臨床心理実習Ⅰ	4前		1		3	1		1	1	
	臨床心理実習Ⅱ	4後		1		3	1		1	1	
	福祉心理学	4後		2							1
	サービスデザイン心理学	2後		2							1
	行動経済学概論	2後		2		1					
	産業カウンセリング	3前		2							1
	経営組織論	3前		2		1					
	心理調査概論	3前		2		1					
	消費者心理学	3後		2		1					
	ビジネスコミュニケーション	3後		2							1
プロモーションの心理学	3後		2							1	
ブランドと人間行動	4前		2							1	
交渉の心理学	4後		2							1	
メディア心理学Ⅰ	2後		2		1						
メディア心理学Ⅱ	3前		2		1						
メディア倫理	2後		2		1						
メディアと人間行動	3前		2							2	
認知システム論	3後		2							1	
メディアとデザインの心理学	4前		2							2	
広告心理学	4後		2		1						
小計(33科目)		-	0	63	0	6	1	0	1	1	13
関連科目	データサイエンス入門	1前		2					1		
	コンピュータネットワーク	1後		2				1		1	
	プログラミング	2前		2		1					
	女性とビジネス	2後		2							1
	多変量解析	2後		2							1
	経営学概論	3前		2		1					
	マーケティング	3前		2							1
	ITビジネス	3後		2		1					
	人間行動ビッグデータ解析	3後		2					1		1
小計(9科目)		-	0	18	0	2	0	1	0	1	3
合計(145科目)		-	59	197	0	7	2	1	1	2	80
卒業要件及び履修方法											
全学共通教養科目20単位以上、専門科目80単位以上、全学共通教養科目又は専門科目を24単位以上、合計124単位を修得すること。 なお、全学共通教養科目については、語学科目(世界の言語)のうち「英語Ⅰ-1」、「英語Ⅰ-2」を含む6単位以上、またウェルネス科目は3単位以上とする。 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - ② 授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 授業内容の充実を図り、「女性Ⅲ」の兼任・兼任を「5」から「6」へ変更。
- ・ 新採用教員の追加に伴い、担当授業科目を調整し授業内容の充実を図り、「地域学習」の専任教員等の配置を「助教1」を追加変更。
- ・ 新採用教員の追加に伴い、担当授業科目を調整し授業内容の充実を図り、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」へ変更。
- ・ 授業時間割編成の調整により、「教養英語Ⅰ-1」及び「教養英語Ⅰ-2」の兼任・兼任を「2」から「1」へ変更。
- ・ 授業内容の充実を図り、「心とからだの健康」の兼任・兼任を「2」から「7」へ変更。
- ・ 授業内容の充実を図り、「現代社会Ⅴ」の兼任・兼任を「5」から「9」へ変更。

【令和5年度】

--

【令和6年度】

--

【令和7年度】

--

- (注) ・ 2 (1) - ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (令和2年度開設であれば令和元年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	116 科目	0 科目	145 科目	29 科目 [0]	116 科目 [0]	0 科目 [0]	145 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{145} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神戸女子短期大学（収容定員480人、必要面積4,800㎡）と共用					
	校舎敷地	60,601.00㎡	4,174.00㎡	17,849.56㎡	82,624.56㎡						
	運動場用地	9,999.00㎡	0.00㎡	6,675.28㎡	16,674.28㎡						
	小 計	70,600.00㎡	4,174.00㎡	24,524.84㎡	99,298.84㎡						
	そ の 他	62,789.12㎡	0.00㎡	0.00㎡	62,789.12㎡						
	合 計	133,389.12㎡	4,174.00㎡	24,524.84㎡	162,087.96㎡						
(2) 校 舎	専 用	48,443.29㎡	7,085.46㎡	21,253.33㎡	76,782.08㎡	神戸女子短期大学（収容定員480人、必要面積5,450㎡）と共用					
	(48,443.29㎡)	(7,085.46㎡)	(21,253.33㎡)	(76,782.08㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	51室	演 習 室	38室	実験実習室	71室	情報処理学習施設	7室	語学学習施設	2室	大学全体 (補助職員0人) (補助職員1人)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	心理学部 心理学科				12		室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕点							
		心理学部心理学科	5,205 [2,655]	4,683 [4,682] 2,135 [2,132]				3,572 3,512	7,762	19	
		(289,660 [57,060]) (285,768 [57,072])	(5,205 [2,655])	(4,683 [4,682]) (2,135 [2,132])				3,572 (3,512)	(7,762)	(19)	
		計	5,205 [2,655]	4,683 [4,682] 2,135 [2,132]				3,572 3,512	7,762	19	
	(289,660 [57,060]) (285,768 [57,072])	(5,205 [2,655])	(4,683 [4,682]) (2,135 [2,132])	3,572 (3,512)	(7,762)	(19)	学部単位での特定不能なため、大学全体の学生の修学環境の充実を図る(4)				
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	8,049.23㎡		701席		410,000冊		大学全体				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要								
	5,794.54㎡		テニスコート5面								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当たり研究費等	350千円	350千円	図書購入費	2,500千円	1,500千円	1,500千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む		
	共同研究費等	2,283千円	2,740千円	設備購入費	45,000千円	7,000千円	7,000千円				
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	1,370千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	神戸女子大学				学生募集停止学科数	0		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0		備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	
					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度				
	年	人	年次 人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度	
文学部												
日本語日文学科	4	60	-	240	1.10	0.76	0.9	0.78	0.88	-	平成18	
英語英米文学科	4	60	-	240	1.01	0.96	0.71	0.55	0.80	-	平成18	
国際教養学科	4	60	-	180	1.30	1.10	0.83	0.28	0.87	令和3	平成18	令和3年度より入学定員(40→60)変更
史学科	4	60	-	240	1.15	0.86	0.85	0.70	0.89	-	昭和44	
教育学科	4	165	-	660	1.06	0.93	0.73	0.67	0.84	-	昭和44	
健康福祉学部												
社会福祉学科	4	80	-	320	0.95	0.77	0.72	0.76	0.80	-	平成18	
健康スポーツ栄養学科	4	80	-	320	1.05	0.83	0.66	0.80	0.83	-	平成21	
家政学部												
家政学科	4	80	-	320	1.21	1.06	1.13	0.62	1.00	-	昭和41	
管理栄養士養成課程	4	150	3年次 10	620	0.86	0.85	0.92	1.02	0.91	-	昭和43	
看護学部												
看護学科	4	90	-	350	0.96	0.97	1.03	0.87	0.95	令和元	平成27	令和元年度より入学定員(80→90)変更
心理学部												
心理学科	4	80	-	320	-	-	-	1.01	1.01	-	令和4	令和4年度開設
大学全体	4	965	10	3810	-	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	神戸女子大学大学院				学生募集停止学科数	0		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度
					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
	年	人	年次人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度
家政学研究科											
(博士前期課程)											
食物栄養学専攻	2	8	-	16	-	-	1.00	1.00	1.00	-	昭和59
生活造形学専攻	2	6	-	12	-	-	0.00	0.00	0.00	-	平成7
(博士後期課程)											
食物栄養学専攻	3	2	-	6	-	0.00	0.50	0.00	0.16	-	平成元
生活造形学専攻	3	2	-	6	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-	平成9
文学研究科											
(博士前期課程)											
日本文学専攻	2	4	-	8	-	-	0.00	0.25	0.12	-	昭和61
英文学専攻	2	4	-	8	-	-	0.00	0.00	0.00	-	昭和61
日本史学専攻	2	4	-	8	-	-	0.50	0.25	0.37	-	昭和61
教育学専攻	2	4	-	8	-	-	0.00	0.00	0.00	-	昭和62
(博士後期課程)											
日本文学専攻	3	2	-	6	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-	平成5
英文学専攻	3	2	-	6	-	0.50	0.00	0.00	0.16	-	平成4
日本史学専攻	3	2	-	6	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-	平成3
教育学専攻	3	2	-	6	-	0.00	0.50	0.00	0.16	-	平成元
健康栄養学研究科											
(修士課程)											
健康栄養学専攻	2	4	-	8	-	-	1.00	2.25	1.62	-	平成28
看護学研究科											
(博士前期課程)											
看護学専攻	2	8	-	16	-	-	0.75	0.87	0.81	-	令和元
(博士後期課程)											
看護学専攻	3	3	-	9	-	1.00	1.66	0.66	1.10	-	令和元
大学院全体	-	57	-	129	-	-	-	-	-	-	-

大学の名称	神戸女子短期大学				学生募集停止学科数	0		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度
					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
	年	人	年次人	人					倍		
総合生活学科	2	100	-	200	-	-	0.68	0.61	0.64	-	平成8
食物栄養学科	2	60	-	120	-	-	0.90	0.70	0.80	-	平成8
幼児教育学科	2	80	-	160	-	-	0.53	0.52	0.52	-	昭和30
大学全体	2	240	-	480	-	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<心理学部 心理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小原 依子 (50) <令和4年4月> 博士(教育心理学)
		臨床心理学概論 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 心理演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ カウンセリング 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
専	教授	秋山 学 (55) <令和4年4月> 修士(心理学)
		社会・集団心理学(社会・集団・社会心理学) 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理調査概論 消費者心理学 広告心理学
専	教授	浅木森 和夫 (68) <令和5年4月> 学術博士
		情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ プログラミング ITビジネス
兼任	教授	浅木森 和夫 (68) <令和4年4月> 学術博士
		情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学基礎演習
専	教授	池尻 義隆 (60) <令和6年4月> 博士(医学)
		心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心の脳科学 精神医学(精神疾患とその治療) 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
兼任	講師	池尻 義隆 (60) <令和4年4月> 博士(医学)
		心理学基礎演習 心の脳科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小原 依子 (51) <令和4年4月> 博士(教育心理学)
		臨床心理学概論 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 心理演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ カウンセリング 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
専	教授	秋山 学 (56) <令和4年4月> 修士(心理学)
		社会・集団心理学(社会・集団・社会心理学) 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理調査概論 消費者心理学 広告心理学
専	教授	浅木森 和夫 (69) <令和5年4月> 学術博士
		情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ プログラミング ITビジネス
兼任	教授	浅木森 和夫 (69) <令和4年4月> 学術博士
		情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学基礎演習
専	教授	池尻 義隆 (61) <令和6年4月> 博士(医学)
		心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心の脳科学 精神医学(精神疾患とその治療) 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
兼任	講師	池尻 義隆 (61) <令和4年4月> 博士(医学)
		心理学基礎演習 心の脳科学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小沢 康英 (60) <令和4年4月> 博士(経済学)
		地域学習 現代社会Ⅱ 産業・組織心理学 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 行動経済学概論 経営組織論 経営学概論
専	教授	栗田 聡子 (54) <令和4年4月> Ph.D. in Mass Communication (米国)
		心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ メディア心理学Ⅰ メディア心理学Ⅱ メディア倫理
専	教授	前田 研史 (66) <令和4年4月> 博士(学術)
		心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 心理演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 障がい児・障がい者心理学(障害者・障害児心理学) 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
専	准教授	黒黒 慎太郎 (46) <令和4年4月> 修士(教育心理学)※
		発達心理学A(青年期・成人期・高齢期) 心理学基礎演習 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 心理演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学的支援法 心理検査法実習 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
専	准教授	佐伯(豊田) 恵里奈 (45) <令和4年4月> 博士(心理学)
		知覚・認知心理学 学習・言語心理学 心理学基礎演習 心理学実験演習Ⅰ 上級心理学実験演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小沢 康英 (61) <令和4年4月> 博士(経済学)
		地域学習 現代社会Ⅱ 産業・組織心理学 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 行動経済学概論 経営組織論 経営学概論
専	教授	栗田 聡子 (55) <令和4年4月> Ph.D. in Mass Communication(米国)
		心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ メディア心理学Ⅰ メディア心理学Ⅱ メディア倫理
専	教授	前田 研史 (67) <令和4年4月> 博士(学術)
		心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 心理演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 障がい児・障がい者心理学(障害者・障害児心理学) 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
専	准教授	黒黒 慎太郎 (47) <令和4年4月> 修士(教育心理学)※
		発達心理学A(青年期・成人期・高齢期) 心理学基礎演習 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 心理演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学的支援法 心理検査法実習 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
専	准教授	佐伯(豊田) 恵里奈 (46) <令和4年4月> 博士(心理学)
		知覚・認知心理学 学習・言語心理学 心理学基礎演習 心理学実験演習Ⅰ 上級心理学実験演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	西本 実苗 (47) <令和4年4月> 修士(教育学)※
		情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学統計法 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ データサイエンス入門 コンピュータネットワーク 人間行動ビッグデータ解析
専	助教	曾山(鶴井) いつみ (35) <令和4年4月> 博士(教育学)
		心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実験演習Ⅰ 上級心理学実験演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 家族心理学(社会・集団・家族心理学) 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
兼任	教授	稲垣 善茂 (55) <令和4年4月> 博士(薬学)
		自然と環境Ⅰ
兼任	教授	植戸 貴子 (63) <令和4年4月> 博士(人間福祉)
		現代社会Ⅴ※
兼任	教授	奥野 直 (62) <令和4年4月> 博士(医学)
		女性Ⅲ※
兼任	教授	木村 大輔 (46) <令和4年4月> 博士(保健学)
		衣・食・住Ⅱ※

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	西本 実苗 (48) <令和4年4月> 修士(教育学)※
		情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学統計法 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ データサイエンス入門 コンピュータネットワーク 人間行動ビッグデータ解析
専	助教	曾山(鶴井) いつみ (36) <令和4年4月> 博士(教育学)
		心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実験演習Ⅰ 上級心理学実験演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 家族心理学(社会・集団・家族心理学) 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
専	助教	吉川 祐介 (41) <令和4年4月> 修士(商学)
		地域学習 心理学基礎演習
兼任	教授	泉 紗子 (67) <令和4年4月> 博士(社会福祉学)
		女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※
兼任	教授	稲垣 善茂 (56) <令和4年4月> 博士(薬学)
		自然と環境Ⅰ
兼任	教授	植戸 貴子 (64) <令和4年4月> 博士(人間福祉)
		現代社会Ⅴ※
兼任	教授	奥野 直 (63) <令和4年4月> 博士(医学)
		女性Ⅲ※
兼任	教授	木村 大輔 (47) <令和4年4月> 博士(保健学)
		心とからだの健康※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任	教授	齋藤 あつ子 (65) <令和4年4月> 博士(臨床教育学)
		女性Ⅲ※
兼任	教授	佐々木 勝一 (66) <令和4年4月> 博士(臨床教育学)
		現代社会Ⅴ※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 藍子 (55) <令和4年4月> 博士(食物栄養学)
		衣・食・住Ⅱ※
兼任	教授	鈴木 一永 (56) <令和4年4月> 博士(医学)
		女性Ⅲ※
兼任	教授	津田 理恵子 (57) <令和4年4月> 博士(臨床福祉学)
		教養総合Ⅰ
兼任	教授	西出 良郎 (60) <令和4年4月> 修士(文学)※
		言葉と文学Ⅲ
兼任	教授	本田 まり (46) <令和4年4月> 博士(生活環境学)
		衣・食・住Ⅱ※
兼任	教授	松井 順子 (61) <令和4年4月> 博士(生活環境学)
		現代社会Ⅴ※
兼任	教授	吉川 豊 (47) <令和4年4月> 博士(理学)
		女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任	准教授	下司 実奈 (63) <令和4年4月> 博士(学校教育学)
		心理学Ⅰ 手話Ⅰ 手話Ⅱ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任	准教授	小島(丹下) 理永 (47) <令和4年4月> 博士(学術)
		女性Ⅲ※ スポーツ実技Ⅳ(テニス) スポーツ実技Ⅴ(学外)
兼任	准教授	重福 京子 (67) <令和4年4月> 修士(学校教育学)
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ-1(球技) スポーツ実技Ⅰ(バドミントン) スポーツ実技Ⅴ(学外)
兼任	准教授	清水 弥生 (57) <令和4年4月> 修士(社会福祉学)※
		現代社会Ⅴ※ 教養総合Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 藍子 (56) <令和4年4月> 博士(食物栄養学)
		衣・食・住Ⅱ※
兼任	教授	津田 理恵子 (58) <令和4年4月> 博士(臨床福祉学)
		現代社会Ⅴ※ 教養総合Ⅰ
兼任	教授	西出 良郎 (61) <令和4年4月> 修士(文学)※
		言葉と文学Ⅲ
兼任	教授	本田 まり (47) <令和4年4月> 博士(生活環境学)
		衣・食・住Ⅱ※
兼任	教授	松井 順子 (62) <令和4年4月> 博士(生活環境学)
		現代社会Ⅴ※
兼任	教授	吉川 豊 (48) <令和4年4月> 博士(理学)
		女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任	准教授	下司 実奈 (64) <令和4年4月> 博士(学校教育学)
		心理学Ⅰ 手話Ⅰ 手話Ⅱ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任	准教授	小島(丹下) 理永 (48) <令和4年4月> 博士(学術)
		女性Ⅲ※ スポーツ実技Ⅳ(テニス) スポーツ実技Ⅴ(学外)
兼任	准教授	坂元 美子 (55) <令和4年4月> 心身健康科学(修士)
		心とからだの健康※
兼任	准教授	重福 京子 (68) <令和4年4月> 修士(学校教育学)
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ-1(球技) スポーツ実技Ⅰ(バドミントン) スポーツ実技Ⅴ(学外) 心とからだの健康※
兼任	准教授	清水 弥生 (58) <令和4年4月> 修士(社会福祉学)※
		現代社会Ⅴ※ 教養総合Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	菅田 里美 (52) <令和4年4月> 博士(人間福祉)
		現代社会V※ 教養演習I 教養演習II
兼任	准教授	松本 衣代 (43) <令和4年4月> 博士(食物栄養学)
		女性III※ 衣・食・住I 衣・食・住II※
兼任	准教授	村田 恵子 (51) <令和4年4月> 博士(理学)
		自然と環境II
兼任	講師	エドワード・ラボラ (61) <令和5年4月> B.A.(米国)
		英語II-1
兼任	講師	住本 純 (38) <令和4年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実技V(学外)
兼任	講師	松浦 紀美恵 (63) <令和4年4月> 家政学士※
		神戸学※ 心とからだの健康※
兼任	講師	阿部 まゆみ (54) <令和4年4月> 経済学士
		基礎I 基礎II
兼任	講師	李 春子 (58) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		朝鮮語I-1 朝鮮語I-2
兼任	講師	池田リウクス ヤスシ (36) <令和4年4月> Magistra Artium(独)
		ドイツ語I-1 ドイツ語I-2
兼任	講師	井上 優大 (27) <令和4年4月> 修士(人間・環境学)
		教養英語I-1 教養英語I-2

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	菅田 里美 (53) <令和4年4月> 博士(人間福祉)
		心とからだの健康※ 現代社会V※ 教養演習I 教養演習II
兼任	准教授	田中 希世子 (49) <令和4年4月> 修士(社会学)※
		現代社会V※
兼任	准教授	松本 衣代 (44) <令和4年4月> 博士(食物栄養学)
		女性III※ 衣・食・住I 衣・食・住II※
兼任	准教授	村田 恵子 (52) <令和4年4月> 博士(理学)
		自然と環境II
兼任	講師	エドワード・ラボラ (62) <令和5年4月> B.A.(米国)
		英語II-1
兼任	講師	住本 純 (39) <令和4年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実技V(学外)
兼任	講師	西原 静子 (44) <令和4年4月> 修士(看護学)
		心とからだの健康※
兼任	講師	松浦 紀美恵 (64) <令和4年4月> 家政学士※
		神戸学※
兼任	講師	阿部 まゆみ (55) <令和4年4月> 経済学士
		基礎I 基礎II
兼任	講師	李 春子 (59) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		朝鮮語I-1 朝鮮語I-2
兼任	講師	K.ポーター (33) <令和4年4月> Magistra Artium(独)
		ドイツ語I-1 ドイツ語I-2
兼任	講師	

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上山 益己 (49) <令和4年4月> 博士(文学)
		歴史Ⅲ
兼任	講師	梅垣 佑介 (35) <令和5年4月> 博士(教育学)
		感情・人格心理学
兼任	講師	梅田 亨 (65) <令和4年4月> 理学博士
		数学Ⅰ 数学Ⅱ
兼任	講師	江見 圭司 (52) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		多変量解析
兼任	講師	大山 範子 (57) <令和4年4月> 博士(学術)
		言葉と文学Ⅰ 教養総合Ⅱ
兼任	講師	小笠原 将之 (52) <令和5年4月> 医学士
		人体の構造と機能・疾患(人体の構造と機能及び疾病)
兼任	講師	岡久 太郎 (30) <令和4年4月> 修士(人間・環境学)
		英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2
兼任	講師	小河 洋子 (52) <令和4年4月> 修士(学術)
		女性Ⅱ
兼任	講師	金田 直子 (39) <令和4年4月> 修士(学術)
		外国語コミュニケーションⅠ 教養英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1
兼任	講師	北川 勝利 (62) <令和7年4月> 経済学士
		メディアとデザインの心理学※
兼任	講師	栗山 はるな (34) <令和4年4月> 修士(人間・環境学)※
		哲学 宗教

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 晶子 (64) <令和4年4月> 修士(言語文化学)※
		教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2
兼任	講師	上山 益己 (50) <令和4年4月> 博士(文学)
		歴史Ⅲ
兼任	講師	梅垣 佑介 (36) <令和5年4月> 博士(教育学)
		感情・人格心理学
兼任	講師	梅田 亨 (66) <令和4年4月> 理学博士
		数学Ⅰ 数学Ⅱ
兼任	講師	江見 圭司 (53) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		多変量解析
兼任	講師	大山 範子 (58) <令和4年4月> 博士(学術)
		言葉と文学Ⅰ 教養総合Ⅱ
兼任	講師	小笠原 将之 (53) <令和5年4月> 医学士
		人体の構造と機能・疾患(人体の構造と機能及び疾病)
兼任	講師	伊藤 孝治 (36) <令和4年4月> Ph.D(History)
		英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2
兼任	講師	小河 洋子 (53) <令和4年4月> 修士(学術)
		女性Ⅱ
兼任	講師	金田 直子 (40) <令和4年4月> 修士(学術)
		外国語コミュニケーションⅠ 教養英語Ⅱ-1
兼任	講師	北川 勝利 (63) <令和7年4月> 経済学士
		メディアとデザインの心理学※
兼任	講師	栗山 はるな (35) <令和4年4月> 修士(人間・環境学)※
		哲学 宗教

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小山 秀之 (49) <令和5年4月> 修士(教育学) 公認心理師の職責 関係行政論 司法・犯罪心理学 福祉心理学
兼任	講師	齋藤 元幸 (35) <令和6年4月> 博士(心理学) 認知システム論
兼任	講師	佐々木 宏 (61) <令和4年4月> 文学士 教養総合Ⅱ
兼任	講師	笹原 秀夫 (64) <令和6年4月> 芸術学士 メディアと人間行動※ メディアとデザインの心理学※
兼任	講師	佐原 陽子 (49) <令和4年4月> 修士(文学)※ 中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 中国語会話Ⅰ 中国語講読Ⅰ
兼任	講師	鎮 朋子 (50) <令和5年4月> 修士(臨床教育学)※ 発達心理学B(乳幼児期・児童期)
兼任	講師	七野 敏光 (66) <令和4年4月> 法学修士※ 現代社会Ⅰ
兼任	講師	柴田 秀樹 (33) <令和4年4月> 文学(修士)※ フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語会話Ⅰ フランス語講読Ⅰ
兼任	講師	杉田 米行 (58) <令和5年4月> Ph. D. (History) (米国) 英語Ⅱ-1
兼任	講師	千田 直毅 (41) <令和5年4月> 博士(経営学) ビジネスコミュニケーション 女性とビジネス
兼任	講師	巽 尚之 (65) <令和6年4月> 法学士 メディアと人間行動※
兼任	講師	谷田 勇樹 (35) <令和5年4月> 博士(教育学) 心理学実験演習Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小山 秀之 (50) <令和5年4月> 修士(教育学) 公認心理師の職責 関係行政論 司法・犯罪心理学 福祉心理学
兼任	講師	齋藤 元幸 (36) <令和6年4月> 博士(心理学) 認知システム論
兼任	講師	佐々木 宏 (62) <令和4年4月> 文学士 教養総合Ⅱ
兼任	講師	笹原 秀夫 (65) <令和6年4月> 芸術学士 メディアと人間行動※ メディアとデザインの心理学※
兼任	講師	佐原 陽子 (50) <令和4年4月> 修士(文学)※ 中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 中国語会話Ⅰ 中国語講読Ⅰ
兼任	講師	鎮 朋子 (51) <令和5年4月> 修士(臨床教育学)※ 発達心理学B(乳幼児期・児童期)
兼任	講師	七野 敏光 (67) <令和4年4月> 法学修士※ 現代社会Ⅰ
兼任	講師	廣岡 江梨子 (38) <令和4年4月> 博士(文学) フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語会話Ⅰ フランス語講読Ⅰ
兼任	講師	杉田 米行 (59) <令和5年4月> Ph. D. (History) (米国) 英語Ⅱ-1
兼任	講師	千田 直毅 (42) <令和5年4月> 博士(経営学) ビジネスコミュニケーション 女性とビジネス
兼任	講師	巽 尚之 (66) <令和6年4月> 法学士 メディアと人間行動※
兼任	講師	谷田 勇樹 (36) <令和5年4月> 博士(教育学) 心理学実験演習Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田和 真希 (58) <令和5年4月> 修士(法学)
		基礎Ⅲ
兼任	講師	鄭 東憲 (59) <令和4年4月> 博士(経済学)
		朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語会話 朝鮮語講読Ⅰ
兼任	講師	辻 幸恵 (59) <令和6年4月> 博士(家政学)
		ブランドと人間行動 マーケティング
兼任	講師	筒井 亮太 (31) <令和6年4月> 臨床心理修士(専門職)
		心理的アセスメント
兼任	講師	豊福 一 (43) <令和4年4月> 学士(法学)
		日本国憲法 現代社会Ⅳ
兼任	講師	永松 圭子 (68) <令和4年4月> 博士(文学)
		歴史Ⅰ
兼任	講師	虹林 桃子 (25) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)
		英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2
兼任	講師	西山 清子 (62) <令和5年4月> 修士(学術)
		スポーツと健康の科学
兼任	講師	野之上 操 (65) <令和4年4月> 体育学士
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ-1(球技) スポーツ実技Ⅰ(バドミントン) スポーツ実技Ⅲ(卓球) スポーツ実技Ⅴ(学外)
兼任	講師	服部 智行 (56) <令和4年4月> 博士(芸術学)
		芸術Ⅱ
兼任	講師	林 孝三 (69) <令和4年4月> 経済学士
		芸術Ⅰ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田和 真希 (59) <令和5年4月> 修士(法学)
		基礎Ⅲ
兼任	講師	鄭 東憲 (60) <令和4年4月> 博士(経済学)
		朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語会話 朝鮮語講読Ⅰ
兼任	講師	辻 幸恵 (60) <令和6年4月> 博士(家政学)
		ブランドと人間行動 マーケティング
兼任	講師	筒井 亮太 (32) <令和6年4月> 臨床心理修士(専門職)
		心理的アセスメント
兼任	講師	豊福 一 (44) <令和4年4月> 学士(法学)
		日本国憲法 現代社会Ⅳ
兼任	講師	永松 圭子 (69) <令和4年4月> 博士(文学)
		歴史Ⅰ
兼任	講師	虹林 桃子 (26) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)
		英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2
兼任	講師	西山 清子 (63) <令和5年4月> 修士(学術)
		スポーツと健康の科学
兼任	講師	野之上 操 (66) <令和4年4月> 体育学士
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅲ(卓球)
兼任	講師	服部 智行 (57) <令和4年4月> 博士(芸術学)
		芸術Ⅱ
兼任	講師	松本 尚 (46) <令和4年4月> 修士(美術)
		芸術Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Vanden Rona Id Edomund (67) <令和4年4月> Master of Science (カナダ) 英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ 教養英語Ⅰ-1
兼任	講師	平野 智子 (51) <令和6年4月> 博士(心理学) 産業カウンセリング
兼任	講師	深井 美智子 (67) <令和5年4月> 修士(文学)※ 英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	藤井 彩 (32) <令和6年4月> 臨床心理修士(専門職) 健康・医療心理学
兼任	講師	正木 慶大 (46) <令和4年4月> 博士(医学) 神経・生理心理学
兼任	講師	水川 布美子 (49) <令和4年4月> 博士(英文学) 教養総合Ⅰ
兼任	講師	道谷 卓 (56) <令和4年4月> 法学修士※ 神戸学※
兼任	講師	南 コニー (42) <令和4年4月> 博士(文学) 女性Ⅰ 女性Ⅳ 現代社会Ⅲ
兼任	講師	毛 新華 (45) <令和7年4月> 博士(人間科学) 交渉の心理学
兼任	講師	毛利 英介 (43) <令和4年4月> 博士(文学) 歴史Ⅱ
兼任	講師	森下 文 (57) <令和4年4月> 博士(学術) 教育・学校心理学
兼任	講師	森藤 ちひろ (49) <令和5年4月> 博士(先端マネジメント) サービスデザイン心理学 プロモーションの心理学
兼任	講師	守家 輝 (31) <令和4年4月> 修士(文学) 英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 外国語コミュニケーションⅡ 教養英語Ⅱ-2

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平野 智子 (52) <令和6年4月> 博士(心理学) 産業カウンセリング
兼任	講師	深井 美智子 (68) <令和5年4月> 修士(文学)※ 英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	藤井 彩 (33) <令和6年4月> 臨床心理修士(専門職) 健康・医療心理学
兼任	講師	正木 慶大 (47) <令和4年4月> 博士(医学) 神経・生理心理学
兼任	講師	水川 布美子 (50) <令和4年4月> 博士(英文学) 教養総合Ⅰ
兼任	講師	道谷 卓 (57) <令和4年4月> 法学修士※ 神戸学※
兼任	講師	南 コニー (43) <令和4年4月> 博士(文学) 女性Ⅰ 女性Ⅳ 現代社会Ⅲ
兼任	講師	毛 新華 (46) <令和7年4月> 博士(人間科学) 交渉の心理学
兼任	講師	毛利 英介 (44) <令和4年4月> 博士(文学) 歴史Ⅱ
兼任	講師	森下 文 (58) <令和4年4月> 博士(学術) 教育・学校心理学
兼任	講師	森藤 ちひろ (50) <令和5年4月> 博士(先端マネジメント) サービスデザイン心理学 プロモーションの心理学
兼任	講師	守家 輝 (32) <令和4年4月> 修士(文学) 英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 外国語コミュニケーションⅡ 教養英語Ⅱ-2

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山内 有香子 (61) <令和4年4月> 教育学士
		神戸学※
兼任	講師	山口 知子 (61) <令和4年4月> 博士(文学)
		言葉と文学Ⅱ
兼任	講師	山本 辰生 (44) <令和4年4月> 修士(人間共生)
		スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)
兼任	講師	吉富 文 (49) <令和4年4月> 修士(言語・文化学)
		イタリア語Ⅰ-1 イタリア語Ⅰ-2 イタリア語会話Ⅰ イタリア語講読Ⅰ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山内 有香子 (62) <令和4年4月> 教育学士
		神戸学※
兼任	講師	山口 知子 (62) <令和4年4月> 博士(文学)
		言葉と文学Ⅱ
兼任	講師	山本 辰生 (45) <令和4年4月> 修士(人間共生)
		スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)
兼任	講師	吉富 文 (50) <令和4年4月> 修士(言語・文化学)
		イタリア語Ⅰ-1 イタリア語Ⅰ-2 イタリア語会話Ⅰ イタリア語講読Ⅰ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む)。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください)
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・吉川祐介助教を教育内容の充実を図るため、新規採用。「地域学習」及び「心理学基礎演習」担当。
- ・泉妙子教授を「女性Ⅲ」「心とからだの健康」「現代社会Ⅴ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・木村大輔教授に「心とからだの健康」を追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・齋藤あつ子教授を「女性Ⅲ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・佐々木勝一教授を「現代社会Ⅴ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・鈴木一永教授の退職により削除。
- ・津田理恵子教授を「現代社会Ⅴ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・坂元美子准教授を「心とからだの健康」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・重福京子准教授を「心とからだの健康」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・曾田里美准教授を「心とからだの健康」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・田中希世子准教授を「現代社会Ⅴ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・西原詩子講師を「心とからだの健康」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・松浦紀美恵講師の「心とからだの健康」を削除。(授業内容の見直しを図り、担当者を変更したため)
- ・池田リツウス・ヤスミン講師退任により、「ドイツ語Ⅰ-1」「ドイツ語Ⅰ-2」をK.ボーネルト講師に変更。
- ・井上優大講師退任により、「教養英語Ⅰ-1」「教養英語Ⅰ-2」を佐藤晶子講師に変更。
- ・岡久太郎講師退任により、「英語Ⅰ-1」「英語Ⅰ-2」を伊藤孝治講師に変更。
- ・金田直子講師の「教養英語Ⅰ-2」を削除。(時間割編成の調整を行ったため)
- ・柴田秀樹講師退任により、「フランス語Ⅰ-1」「フランス語Ⅰ-2」「フランス語会話Ⅰ」「フランス語講読Ⅰ」を廣岡江梨子講師に変更。
- ・野之上操講師の「スポーツ実技Ⅰ-1(球技)」「スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)」「スポーツ実技Ⅰ(学外)」を削除。(時間割編成の調整を行ったため)
- ・林孝三講師の定年退職により、「芸術Ⅰ」を松本尚講師に変更。
- ・Vanden Ronald Edmond講師退任により、「英語Ⅱ-2」「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」「教養英語Ⅰ-1」を削除。(時間割編成の調整を行ったため)

【令和5年度】

--

【令和6年度】

--

【令和7年度】

--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	2	1	1	11	3	5	2	1	2	10	3
(5)	(2)	(1)	(2)	(10)	(3)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	2	1	2	12	3	7	2	1	2	12	3
[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、
教員審査を卒業済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	0 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{11} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{3}{3} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{11} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

— 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和3年)	特になし		

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
・1時限の授業時間：90分	<p>・1時限の授業時間：105分に変更</p> <p>ポストコロナに向けた授業改革により、アクティブラーニングを積極的に取り入れ教育内容を充実するとともに、授業期間が短縮されることで、夏季休業中の留学・インターンシップ等の促進を図るため。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会（添付資料1） ・神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会（添付資料2） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会（2022年度 第1回5月開催） ・神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会（2022年度 第1回7月開催予定） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会 FD活動の計画及び実施、運営及び支援、情報収集及び提供、自己点検・評価に関する事項 ・神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会 大学等の運営に係る教職員の能力・資質の向上に関する事項、SD研修に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業アンケート」の立案・実施及びフィードバック ・「授業の自己点検書」の立案・実施及びフィードバック ・授業公開制度の運用 ・研修会等の立案・実施 等 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会及びSD委員会が全ての取組の趣旨及び実施要領などを教授会等において報告し実施 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修会出席状況 64.6% <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教員は、「授業アンケート」の結果を受けて「授業の自己点検書」に改善が必要な課題とそれに対応した取組を記載し、委員会に報告 委員会では、全学で共有すべき内容を抽出して教授会等で報告し、授業改善の取組を支援 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期及び後期の授業期間又は授業終了後に各々1回実施 <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員には全担当科目の結果を示し、かつ集計結果から共有すべき内容を教授会等で報告 学生には全授業の結果を学内ポータルサイトで公開
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
心理学部心理学科は、人間の心的過程と行動のメカニズムに深い関心を持ち、社会における人間の多様な営みを心理学の視点から理解し、他者と心理的な交流を深めて協働して活動することのできる人材を養成することを目的に本年度新たに設置した学部である。
初年度は、入学定員80名に対し、81名の優秀な学生を確保することができた。現時点において、教育・研究等の成果を点検・評価することはできないが、入学生が本学部の目標を理解していることは学習への取組の姿勢で確認できる。このことから、本学部の当初目的は達成できていると判断する。

② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
・2024年4月公表（予定）
〔前回認証評価（2016年度）の点検・評価内容等はホームページで公開している。〕
b 公表方法
・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画
・2023年度に公益財団法人大学基準協会の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫
b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫
d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、神戸女子大学及び神戸女子短期大学（以下「本学」という。）に神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会（以下「委員会」という。）を置き、大学設置基準、大学院設置基準及び短期大学設置基準に基づき、組織的な研修及び研究（FD）を実施し、本学における授業の内容及び方法の改善を図ることを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 委員長
 - (2) 大学の各学科に所属する教員各1名
 - (3) 大学院の各専攻に所属する教員各1名
 - (4) 短期大学の各学科に所属する教員各1名
 - (5) 全学共通教育運営委員会委員1名
 - (6) 学長室課長
- 2 前項第6号を除く各号の委員を兼務することは、これを妨げない。
- 3 第1項第6号を除く委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 4 委員長は、学長が指名する。
- 5 委員長は、委員会を招集し、議長となる。
- 6 委員長に事故があるときは、学長が代理を指名する。
- 7 第1項第2号、第3号、第4号及び第5号の委員は委員長からの推薦に基づき、学長が指名する。
- 8 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) FD活動の計画及び実施、運営及び支援に関する事項
 - (2) FD活動に関する情報収集及び提供に関する事項
 - (3) FD活動の自己点検・評価に関する事項
 - (4) その他、委員会が必要と認める事項
- 2 前項各号について審議された事項は、内部質保証委員会に報告する。

(事務)

第4条 本規程に関する事務は、学長室が行う。

(規程の改廃)

第5条 この規程の改廃は、委員会及び内部質保証委員会の意見を聴き学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行に伴い、神戸女子大学・神戸女子短期大学 FD・SD 委員会規程は廃止する。

神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、神戸女子大学及び神戸女子短期大学（以下「本学」という。）に神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会（以下「委員会」という。）を置き、大学設置基準、大学院設置基準及び短期大学設置基準に基づき、本学における教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための必要な取組（SD）を行うことを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 学長
 - (2) 法人本部長
 - (3) 法人本部総務部長
 - (4) 事務局長
 - (5) 学長室課長
 - (6) その他学長が必要と認めた教職員
- 2 前項第6号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 3 委員長は学長が当たり、委員長に事故があるときは、委員長が代理を指名する。
- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 大学等の運営に係る教職員の能力・資質の向上に関する事項
- (2) SD研修に関する事項
- (3) その他委員会が必要と認める事項

(事務)

第4条 本規程に関する事務は、学長室が行う。

(改廃)

第5条 この規程の改廃は、委員会の意見を聴き学長が行う。

附 則

この規程は、令和3年4月8日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。